

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** アーカイブ新聞の広瀬アルバムを見た小川誠治氏からの情報**

アーカイブ新聞第863号(2015年11月10日)に「広瀬アルバム(その2、写真16枚)(東京天文台100周年記念誌資料2-29-2)」という記事を書いた。この号の写真1について、写っている人などについて小川誠治氏から情報が寄せられた。



写真1

筆者は、この写真について「写真1には、1960年3月13日の日付が入っている。天体掃索部の何かの宴会風景であろう。」と書いた。小川氏はこの写真を見たことがあり、川崎天文同好会の会員の方もいるので、川崎天文同好会のイベントの写真ではないかという。小川氏の情報では、

1. 日付から推定して、同会の60周年記念誌の60年のあゆみを点検しますと、「1960年3月13日東京天文台西生田流星観測10周年記念集会(箕輪宅)。広瀬・富田先生、本会会員、理大天文部員等参加終了後皆既月食の共同観測を行う」と記述してあります。また、同会の会報誌にも経過が記述してあります。

2. 写真右側後ろ姿は、長年同会の事務局を担当されて、詳しい内野哲さんではないかと思われるので、内野氏にお聞きしたら、1.と同じ回答でした。さらに写っている方を内野さんに確認したところ、以下のとおりでした。

写真1 こちらむき 森久保 富田 広瀬

後ろ向き 重久? 中西三男 藤井旭? 内野?

私のあいまいな記憶では、集会終了後月食までの間があり、お茶のみをした。その時の様子で、月食前に両先生は帰られたと思います。宴会はやってないと思います。

以上のことから、写真1. は、1960年3月13日故・箕輪敏行先生方で行われた、東京天文台西生田流星観測10周年記念集会の終了後に行われた、お茶飲み会の写真です。

そして、川崎天文同好会創立60周年記念号(27)の関係ページを送っていただいた(写真2)

1960年(昭和35年)

- | | |
|-------|--|
| 1月 1日 | 毎日新聞(川崎) <宇宙の神秘を追って流星群にいどむ> |
| 1月 | 「星」No.69 表紙写真/星図 |
| 2月 | 「星」No.70 表紙写真/月食連続写真 |
| 3月 | 「星」No.71「流星観測10周年記念号」
表紙写真/共同観測でうつされた双子座流星群(1955.12.13) |
| 3月13日 | 東京天文台西生田流星観測10周年記念集会(箕輪宅)。広瀬、富田両先生、本会会員、理大天文部員等参加。終了後皆既月食の共同観測を行う。 |
| 3月14日 | 毎日新聞(川崎) <流星観測所10周年のつどい> |

写真2



写真3

また、「星」第71号という冊子の流星観測10周年記念号の表紙(写真3)と「流星

観測十周年をむかえて」というページのコピーをお送りいただいた。このページには広瀬秀雄、富田弘一郎氏の記事(写真 4)が掲載されていた。

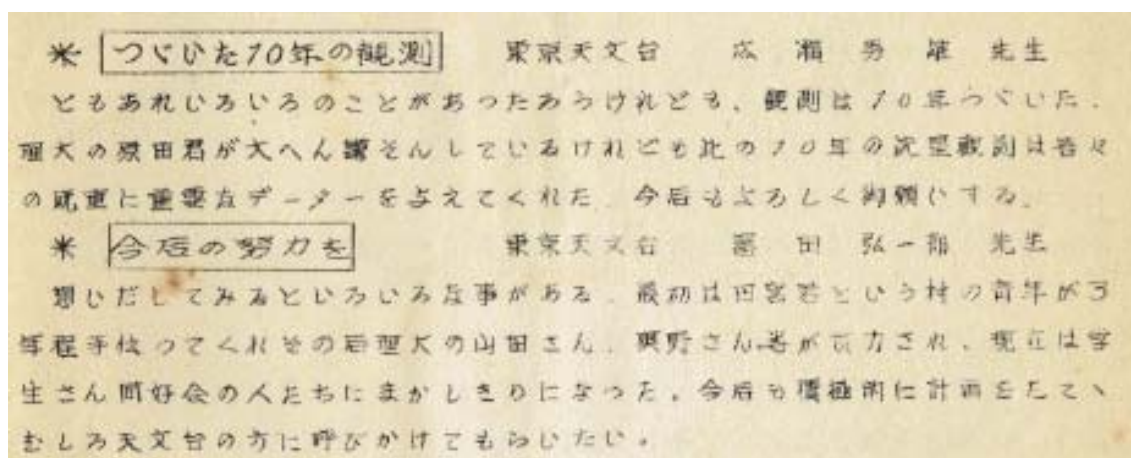


写真 4

このように、アーカイブ新聞の記事を読んでいただき、その記事がより正確になっていくことはうれしい限りである。情報提供にお礼を申し上げます。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp